

高速道路の利用で走行時間 18 分短縮、CO₂ 排出量約 25%削減！ — 県庁から北谷町間の一般道路と高速道路の走行実験比較結果 —

調査結果概要

■高速道路への交通の転換及び CO₂ 削減へ向けて走行実験を実施しました！

交通渋滞の解消や交通事故抑制、観光支援、地球温暖化対策、物流の効率化のため、一般国道 58 号（沖縄西海岸道路）、329 号、およびその中間に位置する沖縄自動車道を柱としたハシゴ道路ネットワークの構築を目指し現在検討を行っています。そこで、今回比較的交通容量に余裕のある高速道路へ交通を転換させた場合の効果把握と CO₂ 削減へ向けて、実走行時の CO₂ 排出量計測実験を実施しましたので報告します。

■計測実験期間 平成 18 年 1 月

■計測のための走行区間（詳細は別紙をご参照下さい）

起点：終点 — 県庁～北谷町

A ルート：一般道走行ルート（国道 58 号を走行）

B ルート：高速道路走行ルート（沖縄南 IC～那覇 IC、一般道は国道 329 号等を走行）

■計測実験結果（詳細は別紙をご参照下さい）

①高速道路を利用した場合

- ・ A ルートと比較すると「走行時間が 18 分短縮」「燃費が約 39%向上」さらには「CO₂ 排出量を約 25%削減」できました。

<問い合わせ先>

内閣府沖縄総合事務局開発建設部道路建設課 TEL : 098-866-0091

課 長 田中 衛 (内線 4211)

道路計画調整官 喜舎場 正秀 (内線 4216)

道路交通の高速道路への交通転換及び温室効果ガスの削減 に向けた実走行時の走行時間、CO₂ 排出量計測実験の実施概要

1. 計測実験期間

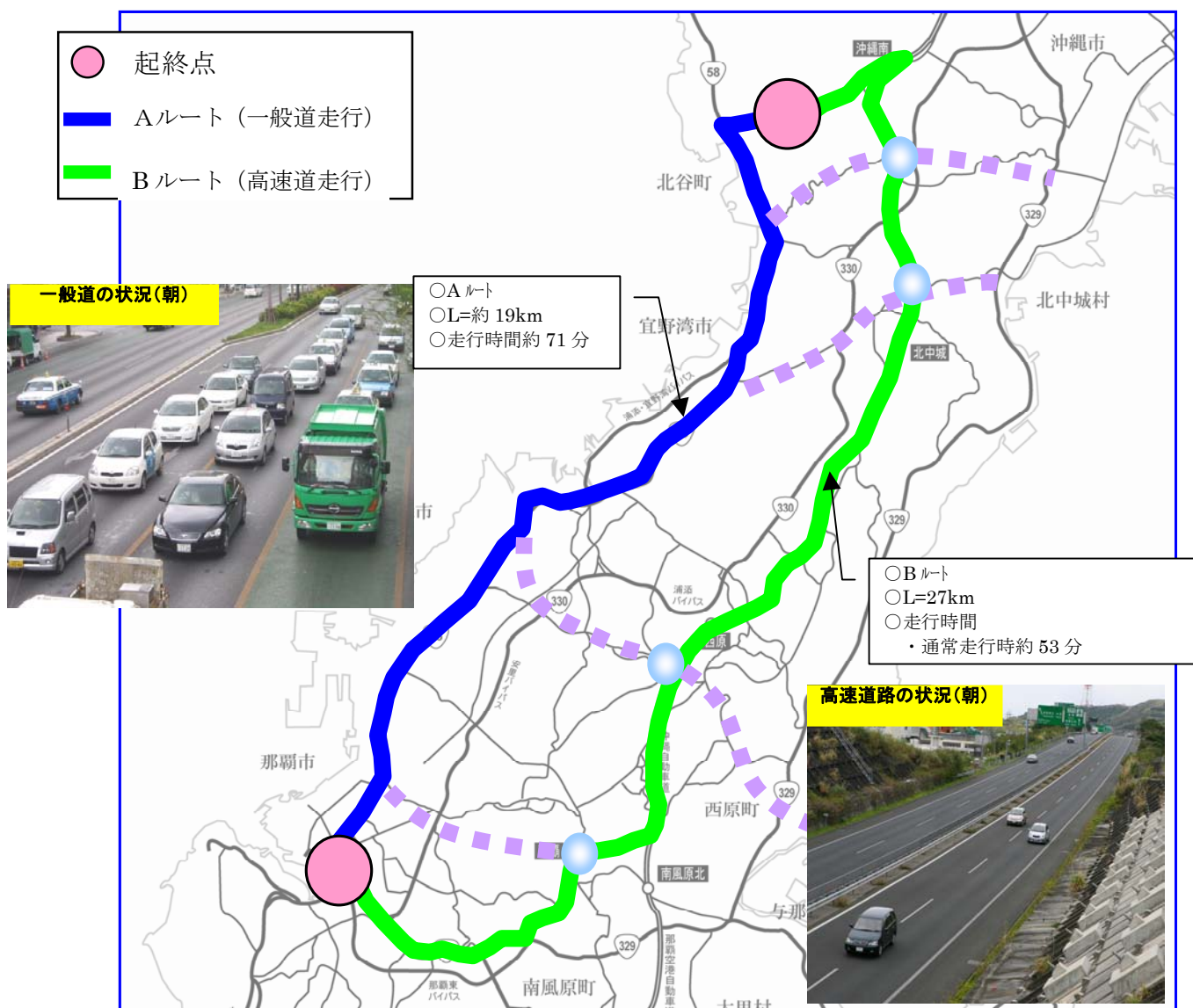
Aルート（一般道走行）：平成 18 年 1 月 20 日（金）

Bルート（高速道路走行）：平成 18 年 1 月 17 日（木）

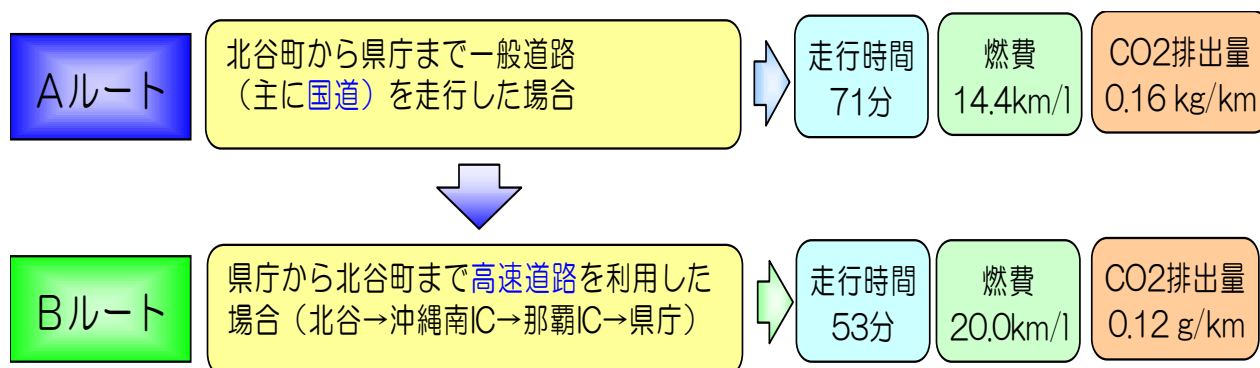
2. 計測実験車両

使用車種：排気量 1,000cc クラスの小型自動車

3. 計測ルート



4. 計測実験結果の概要



高速道路を利用すると、走行時間18分短縮し、燃費が約39%向上、さらにCO2排出量は約25%削減！

5. 計測により得られた効果

(1) 走行時間の短縮

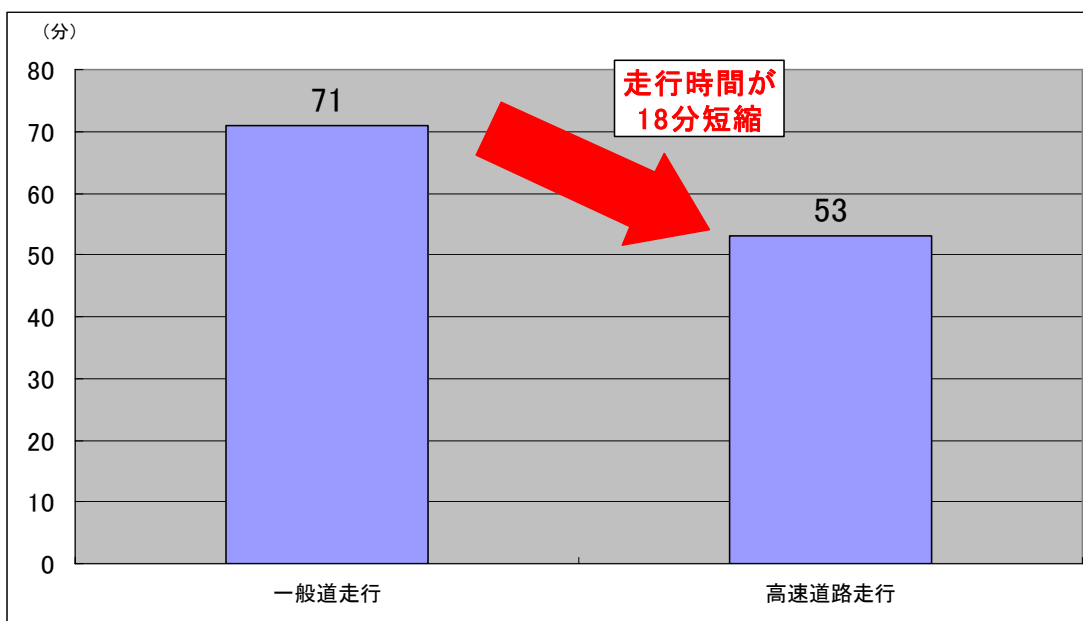


図 一般道路走行と高速道路走行の場合の走行時間比較

(2) 燃費の向上

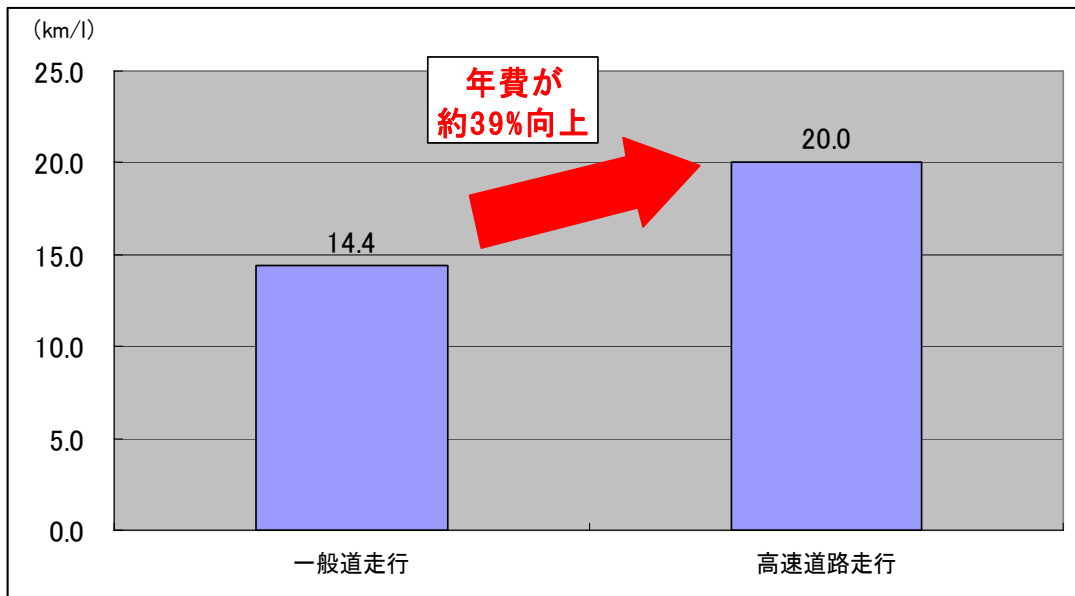


図 一般道走行と高速道路走行の場合の燃費比較

(3) CO₂ 排出量の減少

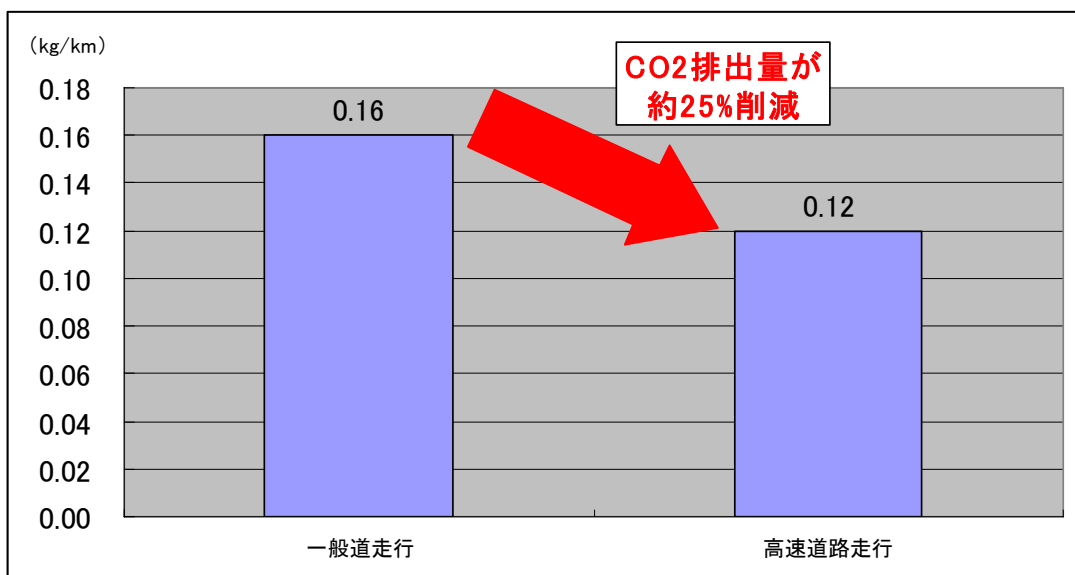
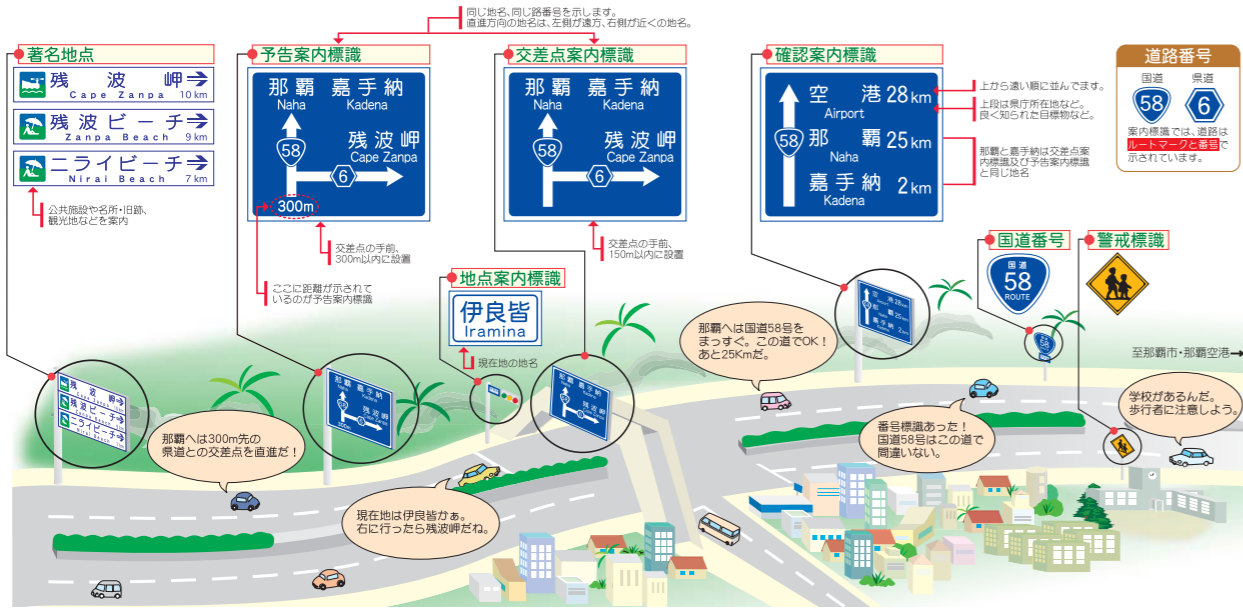


図 一般道走行と高速道路走行の場合の CO₂ 排出量の比較

案内標識 知って安全 快適 ドライブ! ~ 道順を示す案内標識は予告・交差点・確認の3種類 ~



幹線道路の異状を発見したら...
道路緊急ダイヤル 緊急通報 #9910 24時間受付

路面の陥凹
 路面の汚れ(油・土砂)
 ガードレールが壊れています。
 路肩の崩壊
 通に穴があいています。
 故障車・落下物
 路面の穴ぼこ

○各事務所が管理する道路

西日本高速道路	北部国道	南部国道
沖縄自動車道 那覇空港自動車道	恩納村以北の国道58号 うるま市以北の国道329号	読谷村以南の国道58号 沖縄市以南の国道923号 330号、331号 332号、506号

安全な場所へ停車して 管理者を選択

1. 西日本高速道路株式会社
2. 北部国道事務所
3. 南部国道事務所

道路の異状を発見 緊急通報#9910 音声ガイダンスに従って管理者を選択

道路の異状を見つけたらご一報ください

○目的
 道路利用者が道路の異状(土砂崩れ・路面陥没など)を発見した場合、道路管理者へ直接緊急連絡して頂くことにより、迅速に対応を図ることを目的とし開設しました。

・対応する道路は沖縄総合事務局(北部国道事務所及び南部国道事務所)が管理する国道、西日本高速道路株式会社が管理する高速道路となります。

・NTT(固定電話)、携帯電話、公衆電話からの通報が対象です。
 NTT(固定電話)からの電話は無料ですが、それ以外は当面有料となります。

※ 道路交通法により運転中の携帯電話による通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。
 ※ 故障車は、高速道路のみ対象となります。
 ※ 交通事故情報は警察(110番)へ連絡してください。

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ
「道の相談室」フリーダイヤル 0120-106-497 受付時間 AM9:30~PM5:00 ただし12:00~13:00 土・日・祝祭日・年末年始を除く

一般国道331号豊見城道路が開通!

豊見城道路の概要
 平成18年に一般国道331号豊見城道路(豊見城市瀬長一豊崎)が沖縄県の交流・連携・連結を促進する沖縄西海岸道路の一部区間として開通しました。
 沖縄西海岸道路は、読谷村から糸満市までを結ぶ、延長約50kmの地域高規格道路です。沖縄西海岸道路本線部としては、糸満道路南浜地区に次ぐ2番目に開通される道路となります。国道58号、331号などの交通混雑を緩和し、空港・港湾などの広域交流拠点や地域開発拠点などとの連絡強化、地域振興プロジェクトと連携し地域の活性化に大きく貢献します。

豊見城道路 L=4.0 km
 開通区間 H19春開通 H15開通
 L=約2.3km

豊見城道路(豊見城市瀬長~豊見城市豊崎):約2.3km

【概要】
 開通日:平成18年2月25日(土) 供用形態:片側1車×2(対面通行)
 供用延長:約2.3km(豊見城市瀬長~豊見城市豊崎)
 ※H18年度には、西崎地区まで開通予定

供用効果
 那覇空港~アウトレットモールまでの所要時間が約5分短縮します!!
 (現況:約20分 → 供用後:約15分)

【所要時間の短縮】
 所要時間が5分短縮

那覇空港 アウトレットモール

あしびなー

沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課・道路管理課・建設行政課
 〒900-8530 沖縄県那覇市前島2-21-7 TEL.098-866-0091 (道路建設課直通)
 URL:http://www.road.dc.ogb.go.jp

北部国道事務所
 〒905-0019 沖縄県名護市宇北4-28-34 TEL.0980-52-4350
 URL:http://www.dc.ogb.go.jp/hakkoku/index.html

南部国道事務所
 〒900-0001 沖縄県那覇港町2-8-14 TEL.098-861-2336
 URL:http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku

【道の相談室】
 道路に関するご相談をお受けします
 沖縄県内の国道・県道・高速道路に関する相談、問い合わせなどを電話・FAX・インターネットで受け付けています。

どうも よくねれ
 ☎0120-106-497 FAX 098-860-6575
 http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/about/road/soudan
 メールアドレス michi.soudan@ogb.cao.go.jp

高速道路の利用促進と「ハシゴ道路」の構築

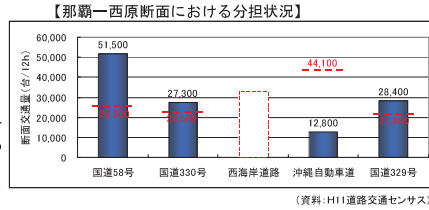
～那覇都市圏の渋滞緩和、高速道路の有効活用を目指して～

1. 沖縄の現状と課題

■道路のアンバランスな使われ方

沖縄県を南北に縦貫する幹線道路において、国道58号、国道329号、国道330号は交通容量を超過する交通を処理するのに対して、沖縄自動車道は交通容量に余裕があります。

計画されている西海岸道路とあわせて、南北幹線道路の容量拡大およびアンバランスな利用特性の是正が重要となります。



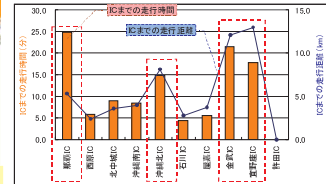
■東西分断と利便性が低下する沖縄自動車道のIC

基地などによる地域分断から一部地域からは高速道路が利用しにくくなっています。新規ICの整備等による高速道路の利用促進が重要です。

【利用が少ないIC】



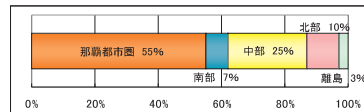
【沖縄自動車道ICと国道58号間の距離、所要時間】



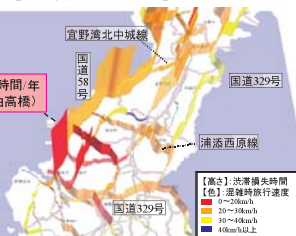
■深刻な交通渋滞

那覇都市圏の渋滞は著しく、沖縄県の渋滞損失時間の約6割が那覇都市圏で発生しています。また、渋滞によって、無駄な燃料消費に伴うCO₂が排出され、地球温暖化防止に向けてCO₂排出量を削減するためにも、道路整備等による抜本的な渋滞対策が必要です。

【渋滞損失時間の地域構成】



【渋滞損失時間の状況】

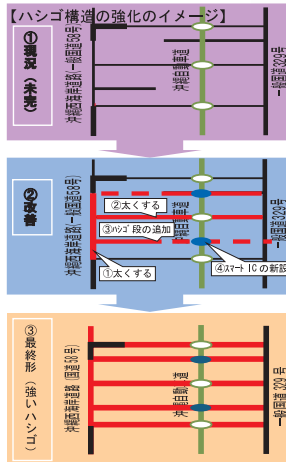


2. 「ハシゴ道路」の整備計画

沖縄における交通問題を解消するために「ハシゴ道路」の整備を推進します。

「ハシゴ道路」の4つの要素

- ①南北を走る強固な『3本の柱』
国道58号(西海岸道路を含む)、329号、沖縄自動車道
- ②柱を支える『東西連絡道路』
浦添西原線、県道24号バイパスなど
- ③高速道路を使いやすくするICの増設
スマートICの整備(ETC普及促進)
- ④モノレールと高速バスの連携
シームレスな乗換を可能とする



完成時の「ハシゴ道路」ネットワーク

渋滞の解消や交通事故抑制、観光支援、地球温暖化抑制、物流の効率化等を目指し、一般国道58号(西海岸道路を含む)、329号およびその中間に位置する沖縄自動車道を柱としたハシゴ状のネットワークを構築していきます。



ETC利用のメリット

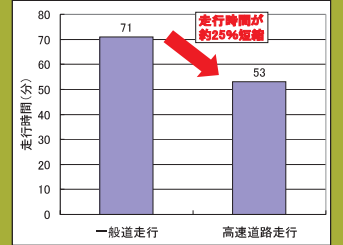
沖縄県におけるETC利用率は22.7%(平成18年2月現在)と全国平均の57.4%と比較して著しく低い状況にあります。ETCにはコストの縮減、ノンストップ通過による快適性・利便性の向上や環境負荷など数多くのメリットがあります。

- ①コスト縮減
 - ・ETC専用の『スマートIC』は簡易な構造であるため、既存のICに比べ約3割設置コストが削減できます。
 - ・料金収受員が削減可能となり、人件費が削減できます。
 - ・時間帯別の割引など、弾力的な料金施策が可能です。
- ②快適＆便利
 - ・ノンストップで料金所を通過できます。
 - ・混雑、渋滞が大幅に改善されます。
- ③環境にやさしい。
 - ・料金所での停車、発進がなくなり、排気ガスが軽減されます。

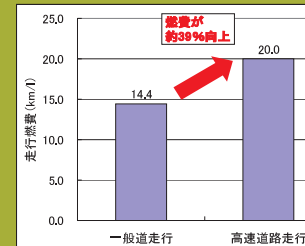
高速道路を使うことによる効果 (CO₂排出量計測実験より)

- 県庁から北谷町まで、高速道路(沖縄一般道(国道58号等)のみを利用した場合、自動車道(那覇IC~沖縄南IC)を利用した場合)と比較すると、走行時間は71分から53分(約25%)短縮されました。
- また、燃費は約39%向上し、CO₂排出量は約25%削減できました。

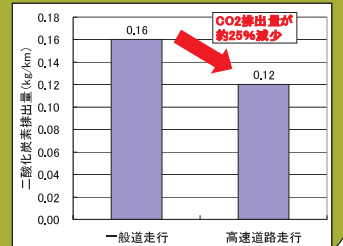
【一般道と高速道路の走行時間の比較】



【走行燃費の比較】



【CO₂排出量の比較】



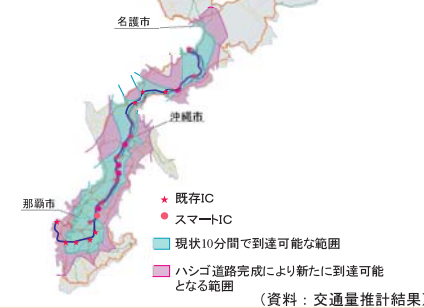
3. 「ハシゴ道路」に期待される効果

■高速道路ICまでのアクセス時間短縮

北部地域のハンディキャップ解消や、地域間の連携に向けては、体系的なネットワークの整備拡充が必要となるとともに、沖縄自動車道などの既存ネットワークの活用が重要となります。

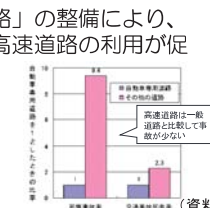
ハシゴ道路の整備により、高速道路のICへ10分で到着できる人口が、93万人(現況と比べ約39万人増)へと増加します。

【ICまでのアクセス時間】

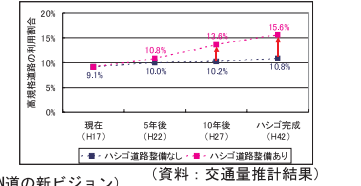


■高速道路の利用促進

「ハシゴ道路」の整備により、事故率の低い高速道路の利用が促進されます。



【高規格道路を利用する割合】



■渋滞状況の改善

「ハシゴ道路」を整備することにより、1人あたり1年間に浪費する時間(渋滞損失時間)が34時間に短縮します(現況と比べて24時間短縮)。

また、渋滞が顕著な那覇都市圏では渋滞損失時間が48%削減します。

【渋滞損失時間】

